

# 第1回 貞山運河再生・復興ビジョン検討座談会

日 時：平成24年 11月5日（月） 18：00～20：00

場 所：宮城県庁 11F 第二会議室

（宮城県仙台市青葉区本町3丁目8番1号）

## 議 事 次 第

1. 開 会

2. 挨 拶

宮城県 土木部 橋本土木部長

公益財団法人リバーフロント研究所 代表理事 竹村座長

3. 趣旨説明

4. 議 事

（1）検討の進め方

（2）貞山運河の歴史・現状等について

（3）貞山運河の被災状況と津波減災効果の検証について

5. 今後の予定について

6. 閉 会

# 貞山運河再生・復興ビジョン検討座談会 趣 意 書

宮城県の沿岸に位置する貞山運河は、東日本大震災に伴う津波に対して減災効果があったと指摘されており、運河の災害復旧における津波減災機能の強化や、既設運河の拡幅等、新たな運河整備を含めて検討が行われている。

津波により甚大な被害を受けた沿岸地域の復興に際して、復興に関する様々な事業が防災機能を有する貞山運河を基軸として相互に連携し合い、一つのランドデザインに沿って展開されることにより、安全でより魅力的な沿岸地域を形成する機会となると考えられる。これらのことから、貞山運河沿川地域の復興において目標とする姿や、それを実現するための仕組みについて「貞山運河再生・復興ビジョン」に定め、復興のシンボルとして誇れる貞山運河の再構築を図ることが重要である。このため、関係する幅広い分野の学識者、地域代表等からなる標記の座談会を設置し、広範かつ専門性の高い検討を踏まえ、貞山運河の歴史的経緯と将来に向けた価値創出をひとつにしうるビジョンの策定を目指す。

平成24年10月

公益財団法人リバーフロント研究所

(別表)

## 貞山運河再生・復興ビジョン検討座談会構成委員

<委員>

氏名	所属	専門
竹村 公太郎 (座長)	公益財団法人リバーフロント研究所 代表理事	河川・環境
神尾 文彦	株式会社 野村総合研究所 社会システムコンサル ルティング部 部長	社会インフラ
越村 俊一	東北大学 災害科学国際研究所 教授	津波工学
高橋 幸夫	みちのくルネッサンスフォーラム 代表	貞山運河研究
田中 仁	東北大学大学院 工学研究科 教授	河川工学
西脇 千瀬	地域社会史研究者	地域社会史
平吹 喜彦	東北学院大学 教養学部地域構想学科 教授	環境マネジメント
宮原 育子	宮城大学 事業構想学部事業計画学科 教授	地域交流・観光

座長を除き五十音順、敬称略

## 「貞山運河再生・復興ビジョン検討座談会」規約

### (名称)

第1条 本会は、「貞山運河再生・復興ビジョン検討座談会」（以下、「座談会」という。）と称する。

### (目的)

第2条 座談会は、幅広い視点から貞山運河に関係する分野の知見を結集する必要がある歴史・文化、河川や海岸の水辺に関し、そのあり方、保全、利用と整備、生態系の保全と回復等の調査研究、技術開発に係る各種事項について様々な観点から検討し、助言するものであり、その成果を宮城県が策定する「貞山運河再生・復興ビジョン」に反映して、安全・安心でより魅力的な沿岸地域を形成する整備に資することを目的とする。

### (構成)

第3条 座談会は、貞山運河の歴史・文化、河川や海岸の水辺に関し、そのあり方、保全、利用と整備、生態系の保全と回復等の調査研究、技術開発に係わる研究者、有識者により構成される。

### (座長)

第4条 座談会に座長を置く。

- 2 座長は、公益財団法人 リバーフロント研究所 代表理事 竹村公太郎とする。
- 3 座長は、座談会を代表し、会務を総括する。

### (事務局)

第5条 座談会の事務局を公益財団法人リバーフロント研究所におく。

### (その他)

第6条 この規約に定めるもののほか、座談会に関し必要な事項は、座長が定める。

### (付則)

第7条 この規約は、平成24年11月5日から施行する。